

くよみ通信

No. 07 2019/06/01

判場の一軒家、備前邸のおばあちゃん、往時を語る

5月16日、午前10時30分
吉成市民センターを出発。

市民センターを出て、バス通りを横切り、ケーキ店三銃士の先を右折、国見ヶ丘一丁目の集いの丘公園脇を通り、緑道を抜けてまもなく左折、峠の一軒家、判場の備前邸を訪ねました。

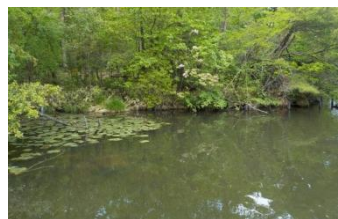
「判場」とは屋号とのこと、備前邸の所在地は旧大沢村芋沢字大害です。旧根白石村実沢字判場は、現在の判場ビルの辺りで、中山峠は村界になると思われます。



↑・大正時代に建てられた家を蔵に↓・「赤馬頭観世音」



↓・曲がり屋だった元備前宅



→・うどう沼

備前邸では、夫人の澄子さんから昔日の「判」取り場の様子をうかがい、屋敷内に保存されている井戸、山の神の碑、金精様、馬頭観世音（昭和十年と刻まれている）などの石碑を見せていただきました。また、昔の備前邸の屋敷（曲屋）を描いた永岡司郎氏の作品、水彩画・油彩画も見せていただきました。

その後、備前邸を出て緑の小道からせせらぎの丘を通り、水芭蕉の水辺、うどうの池に。うどう溜池は、かつて月忌上池といわれ、月忌下池（現在の中山市民センター・月急

山公園）の兄弟池で、中山街道の往時の姿を残す貴重な場所の一つです。

水芭蕉の水辺では大きなミズバショウの葉を見ました。

山際の散策道を辿り、見晴らし台でヤマフジ・タニウツギの花を眺め、四阿にのぼり、池を回り、街道沿いでギョイコウザクラをみました。

池を一周して、再びせせらぎの丘を通り、バス通で12時30分、解散しました。（大沼）

「青陵の森を楽しもう

『森の癒しの音楽祭』で案内

11日、青陵の森では、市民センター主催のコンサートがありました。青陵中等教育学校の吹奏楽部と合唱部が出演して全13曲、森に響かせました。音が、樹々に吸い込まれて爽やかな音楽会でした。

指揮者のタクトが、森の枝だったのが、印象的でした。

終了後、希望者を募って、青陵の森をご案内。約20名程が、咲き始めたいろんな花を見たり、滝の小道などを散策し、楽しみました。新しく入会する人も現れるかも。



↑・上左はヒメシャガ、上右はワスレナグサ。名前は知られていますが、実物は初めて。下は、音楽祭の様子。『ピアノの森』というマンガを連想しました。

今後の活動予定

6/20(木)

「せせらぎ緑道歩き」

- 集合 10:00 貝ヶ森5丁目バス停
- 会員のみ参加可能
- 梅田川沿いのせせらぎ緑道を散策します。案内人は、NPO「梅田川せせらぎ緑道を考える会」のメンバーでもある、当会員の松山さんです。

7/13(木)

未定

ネットでも「くよみ通信」が見られます
<http://www.sendai-shimincenter.jp/aoba/yoshinari/>



地域の自然を守り育て活用する
地域の歴史・文化を研究し楽しむ
令和記念会員、募集!